

第23回（令和元年度第1回）  
セーフコミュニティ 児童虐待防止対策委員会

《会 議 次 第》

日時：平成31年4月18日(木) 14:00～

場所：久留米市庁舎16階 会議室

1 開 会

2 報告事項

(1) 令和元年度の主なスケジュールについて（資料1）

3 協議事項

(1) 平成30年度の取り組み実績について

（資料2）個票

（資料3）総括票（年度実績）

(2) 令和元年度の取り組み方針（案）について

（資料2）個票

（資料4）総括票（令和元年度取り組み方針）

4 その他

5 閉 会

### 【セーフコミュニティ】年間スケジュール

業 務	H30年度			R1年度												備考	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
SC推進協議会					←調整会議→	←本部会議→	←協議会→					任期満了 11/8					
SC対策委員会	1/25 ● 事務局会議	←対策委員会→											←対策委員会(2回程度開催)→				
外傷等動向調査委員会		←外傷委員会→												←外傷委員会(2回程度開催)→			
SCフェスタ														←SCフェスタ→			

### 国際認証第2期(2019～2023)の主な予定

- |          |  |
|----------|--|
| 2019(R1) | ◎今後5年間の基本的な方針の決定<br>◎次回「セーフコミュニティ実態調査」の概要検討と整理         |
| 2020(R2) | ◎次回「セーフコミュニティ実態調査」の決定と実施、集計・分析                         |
| 2021(R3) | ◎取り組みの骨格の検証と見直し<br>●重点取り組み分野と項目の見直し<br>●国際認証の再々取得の意思決定 |
| 2022(R4) | ◎国際認証の再々取得のための事前指導                                     |
| 2023(R5) | ◎国際認証の再々取得のための現地審査                                     |

## 児童虐待防止対策委員会

## 【児童虐待防止】 2-①新生児訪問事業の地域連携

課題	客観的課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で子育て家庭が孤立している</li> <li>・虐待者の60%以上が実母である</li> </ul>					
	主観的課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに困難を感じている保護者が多い</li> <li>・子育ての相談相手がいない、相談窓口を知らない人が多い</li> </ul>					
目標	地域で気軽に相談できる体制作り						
内容	市が行っている「新生児訪問事業」（その中の第2子訪問）の地域連携として、各地域の住民の一人でもある主任児童委員が同行訪問し、子育て中の保護者と地域をつなげ、孤立を防ぐ。						
対象者	子育て中の家庭の母親						
実施者	市（こども子育てサポートセンター）、主任児童委員						
対策委員会の関わり	構成メンバーである久留米市民生委員児童委員協議会の主任児童委員が同行訪問している。						
2018年度の実績及び改善した点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内4校区において市が行っている「新生児訪問事業」に主任児童委員が同行訪問し、子育て中の保護者と地域をつなげ、孤立を防ぐ取り組みを行った。</li> </ul>						
2019年度の方針及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民児協の主任児童委員部会、市（こども子育てサポートセンター）による協議を行いながら、同行訪問の拡大を図る。</li> </ul>						
指標	内容	単位	2014	2015	2016	2017	2018
活動指標	主任児童委員による妊産婦や子育て家庭への家庭訪問件数	件	1	10	11	13	14
【短期】認識・知識	①子育てサロンの実施回数	回	457	426	425	405	418
	②参加者数	人	13,641	14,458	13,132	11,163	10,590
【中期】態度・行動	主任児童委員の同行訪問により子育てサロンにつながった割合 [市家庭子ども相談課統計]	%	100	100	100	100	35.7
【長期】状況	子育てに困難を感じる割合 [子育てに関するアンケート調査(5年毎)]	%	—	—	—	—	—

## 【児童虐待防止】 2-② 赤ちゃんふれあい体験事業

課題	客観的課題	親になるための教育が十分でないと感じている保護者が30%近くいる						
	主観的課題	核家族化や地域とのつながりの希薄化などの影響により、自分が親になる前に子どもと接する機会が減少している						
目標	親になるための十分な教育の支援							
内容	将来、親になる中学生に子育て体験をしてもらう。							
対象者	中学生、2015年度から小学生にも対象拡大							
実施者	各校区のすくすく子育て委員会							
対策委員会の関わり	構成メンバーである久留米市民生委員児童委員協議会の中の主任児童委員が実施している。							
2018年度の実績 及び 改善した点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施校を拡大し、地域・小中学校・市の協働による事業を実施</li> <li>〔中学校〕 7校</li> <li>青陵中学校：6月7日（木）</li> <li>江南中学校：6月14日（木）、27日（水）</li> <li>良山中学校：7月10日（火）、11日（水）、12日（木）</li> <li>田主丸中学校：9月4日（火）、5日（水）</li> <li>明星中学校：9月13日（木）、14日（金）</li> <li>宮ノ陣中学校：11月28日（水）</li> <li>三瀬中学校：6月15日（金）、9月21日（金）、10月26日（金）、11月16日（金）</li> <li>〔小学校〕 2校</li> <li>荘島小学校：9月7日（金）</li> <li>小森野小学校：10月4日（木）</li> </ul>							
2019年度の方針 及び 課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の運営及び実施において、対策委員会としての取組になりきれていない部分がある。</li> </ul> 今後は、対策委員会が主体となっている取組であることを再確認し、地域及び学校と連携しながら、実施校の拡大を目指す。							
指標	内容	単位	2014	2015	2016	2017	2018	
活動指標	赤ちゃんふれあい体験・保育体験等の実施学校数	校	3	4	6	8	9	
【短期】 認識・知識	命の大切さについての認識の向上 〔参加者アンケート〕	%	2017年度より実施			95.8	92.5	
【中期】 態度・行動	赤ちゃんふれあい体験等の新規実施校数	校	0	1	2	2	1	
【長期】 状況	虐待しているのではないかと思うことがある割合 〔子育てに関するアンケート調査(5年毎)〕	%	—	—	—	—	—	



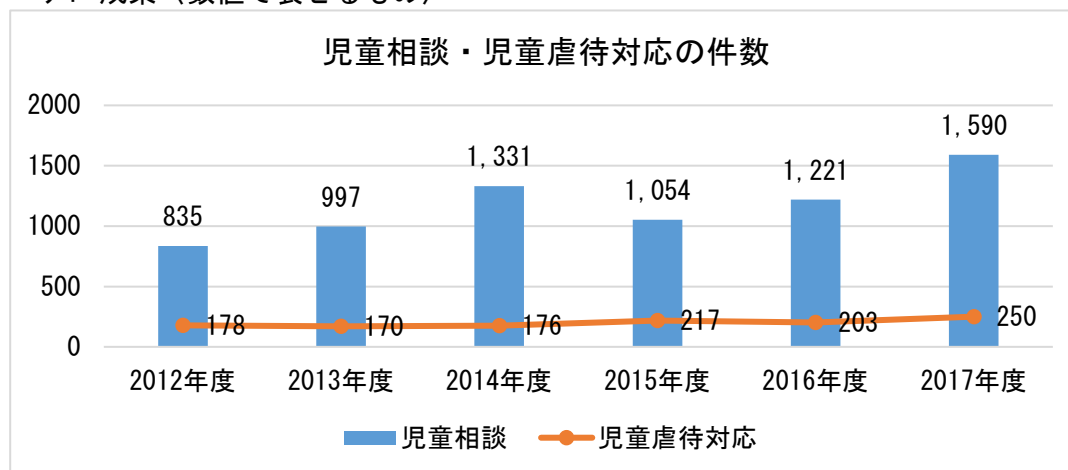
## 【児童虐待防止】 2-③ 児童虐待防止啓発事業

課題	客観的課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待を受けた子どもの大半は、小学生以下である</li> <li>・子ども自身からの相談が少ない</li> </ul>					
	主観的課題	子どもが虐待に関する正しい知識を得るための学習機会が少ない					
目標	子ども自身から相談できる体制づくり						
内容	啓発活動（オレンジリボンの作製、街頭キャンペーン） 児童虐待防止の講演会の実施						
対象者	一般市民						
実施者	主に久留米市要保護児童対策地域協議会						
対策委員会の関わり	対策委員会の構成メンバーと連携した啓発活動等の実施						
2018年度の実績 及び 改善した点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・久留米大学学園祭（あのか祭）：11月3日（土）、4日（日） 来場者にオレンジリボンの啓発を実施</li> <li>・「あきない祭」：11月10日（土） <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2018年度新規</span> オレンジリボンについてのクイズを行い、イラストの塗り絵を実施</li> <li>・「マナビィランド」：11月11日（日） 久留米大学生との協働により、オレンジリボンについてのクイズを行い、イラストが入ったメダル作りを実施</li> <li>・「荘島よかつ祭」：11月11日（日） オレンジリボン作りのコーナーを設置</li> <li>・街頭キャンペーン：11月9日（金） ゆめタウン、11月11日（日）西鉄久留米 11月の児童虐待防止月間に合わせ、利用者の多い上記2ヶ所で啓発グッズとチラシを配布</li> <li>・子ども理解を深めるための連続講座：1月20日（日）、2月3日（日）、2月10日（日） 児童虐待を防止するために、福岡県久留米児童相談所、民間団体、久留米市の3者による協働の事業での講演会を連続で開催</li> </ul>						
2019年度の方針 及び 課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童虐待防止の認識と子育てに関する相談窓口等を、一層多くの市民に周知するために、実施内容等の検討を進める。</li> </ul>						
指標	内容	単位	2014	2015	2016	2017	2018
活動指標	イベントや講習会等の参加者数	人	1,058	1,003	688	1,130	956
【短期】認識・知識	児童虐待防止の認識の向上 [参加者アンケート]	%	2019年度より実施予定				
【中期】態度・行動	相談先の周知状況 [参加者アンケート]	%	2019年度より実施予定				
【長期】状況	虐待しているのではないかと思うことがある割合 [子育てに関するアンケート調査(5年毎)]	%	—	—	—	—	—



重点取り組み項目	No	具体的施策名
児童虐待の防止	2-①	新生児訪問事業の地域連携
	2-②	赤ちゃんふれあい体験事業
	2-③	児童虐待防止啓発事業

## ア. 成果〈数値で表せるもの〉



### 赤ちゃんふれあい体験後の生徒の意識向上と変化

- ・体験終了後の生徒へのアンケートで、命の大切さについて 92.5%の生徒が実感したと回答している。

## イ. 成果〈数値で表せないもの〉

### 新生児訪問事業の地域連携

- ・主任児童委員が訪問する事で顔が見える関係となり、子育てサロンへの参加や、子育ての困り事についての気軽な相談につながった。

### 赤ちゃんふれあい体験後の生徒の意識の変化

- ・体験終了後の生徒へのアンケートで、以下の声が聞かれ、期待した効果が出ている。  
[アンケートに寄せられた声]
- ・命が生まれることは奇跡であり、改めて命の大切さが分かった。
- ・自分が産んだ子どもに対しては、愛情を込めて育てていきたい。
- ・子育ては大変だが、この体験を生かしていきたい。

## ウ. 2018 年度の取り組みで最も成功した事例

### 学生との連携・協働による啓発活動の充実

- ・久留米大学生によるオレンジリボンキャンペーンの取組
- ・マナビ일랜드では、子どもと学生によるオレンジメダルの作製を通し、普及啓発を図った。
- ・街頭キャンペーンで、学生による児童虐待防止の普及啓発を行った。
- ・久留米大学学園祭（あのか祭）で、来場者に児童虐待防止の啓発を行った。

### 啓発活動における各団体との連携

- ・オレンジリボンキャンペーンでは、要保護児童対策地域協議会の関係団体が参加し、街頭キャンペーンを実施した。

## エ. 2018 年度で最も積極的に取り組んだ活動

### 子どもの理解を深めるための連続講座

- ・児童虐待を防止するために、福岡県久留米児童相談所、民間団体、久留米市の3者による協働事業の講演会を連続開催。2018 年度は、「わが町の子どもたちをいっしょに育もう」をテーマに地域における子育て支援について講座を開催し、学ぶ機会を提供した。講座の参加者は、過去最高の延べ 406 人となった。

## オ. 分野横断的に行っていること

### 要保護児童対策地域協議会との連携

- ・警察や児童相談所などの 22 の関係団体で構成する要保護児童対策地域協議会の代表者会議や実務者会議等を通して、児童虐待防止の取り組みを行っている。

## カ. 今後の方向性や取り組みを進める上での課題

### 虐待防止における成果指標の設定

- ・短期、中期、長期指標について、虐待の防止という成果がこれらの指標に示された数字だけでは図れない部分があり、関連性を実証するのが難しい。

具体的施策		2019年度取り組み方針
2-①	新生児訪問事業の地域連携	<p><u>新生児家庭への同行訪問の拡大</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民児協の主任児童委員部会、市（こども子育てサポートセンター）による協議を行いながら、同行訪問の拡大を図る。</li> </ul>
2-②	赤ちゃんふれあい体験事業	<p><u>「赤ちゃんふれあい体験」実施校の拡大</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は、対策委員会の取組になりきれていない部分があるため、対策委員会が主体の取組であることを再確認する。その上で、地域および学校と連携し、実施校の拡大を目指す。</li> </ul>
2-③	児童虐待防止啓発事業	<p><u>児童虐待防止と相談窓口のさらなる周知</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童虐待防止の認識と子育てに関する相談窓口等を、一層多くの市民に周知するために、実施内容等の検討を進める。</li> </ul>